

SHAREHOLDERS INFORMATION / SHAREHOLDERS MEMO

(2016年9月30日現在)

株式状況

発行可能株式総数	19,900,000株
発行済株式総数	11,960,000株
株主数	7,611名

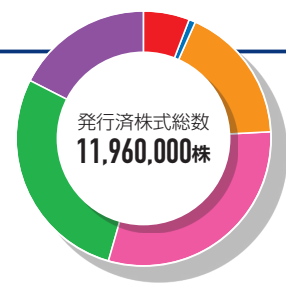
大株主(上位10名)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
平澤 創	4,759,760	48.22
BNYM TREATY DTT 10	594,670	6.02
MSCO CUSTOMER SECURITIES	510,300	5.17
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	212,463	2.15
吉本興業株式会社	206,870	2.09
DEUTSCHE BANK AG LONDON-PB NON-TREATY CLIENTS 613	169,740	1.71
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	144,817	1.46
三菱UFJ信託銀行株式会社	135,000	1.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	115,500	1.17
CBNY-NATIONAL FINANCIAL SERVICES LLC	113,805	1.15

※当社は自己株式(2,090,700株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
※持株比率は自己株式を控除して計算しています。
※持株比率は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

所有者別分布状況(%)

所有者別	構成比
金融機関	5.96
証券会社	0.84
外国法人等	17.44
その他法人	30.30
個人・その他	27.98
自己名義株式	17.48



※発行済株式総数11,960,000株の構成比率です。
※構成比の表示単位未満の端数は、四捨五入して表示しています。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
同連絡先	電子公告 http://www.faitn.co.jp/ir/koukoku/ ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
公告方法	

お知らせ

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご利用いただけます。(株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引先の口座管理機関(証券会社等)へお問合わせください。)

免責事項

本報告書に記載されている将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。
本報告書に記載している会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



株式会社フェイス

〒604-8171 京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町566-1 井門明治安田生命ビル
<http://www.faitn.co.jp/>
お問合わせ先 TEL.075-213-3933 FAX.075-213-3833



ウェブサイトのご案内

フェイス・グループ各社のサービスや注目のコンテンツ情報、最新トピックス等を掲載しています。

<http://www.faitn.co.jp/>

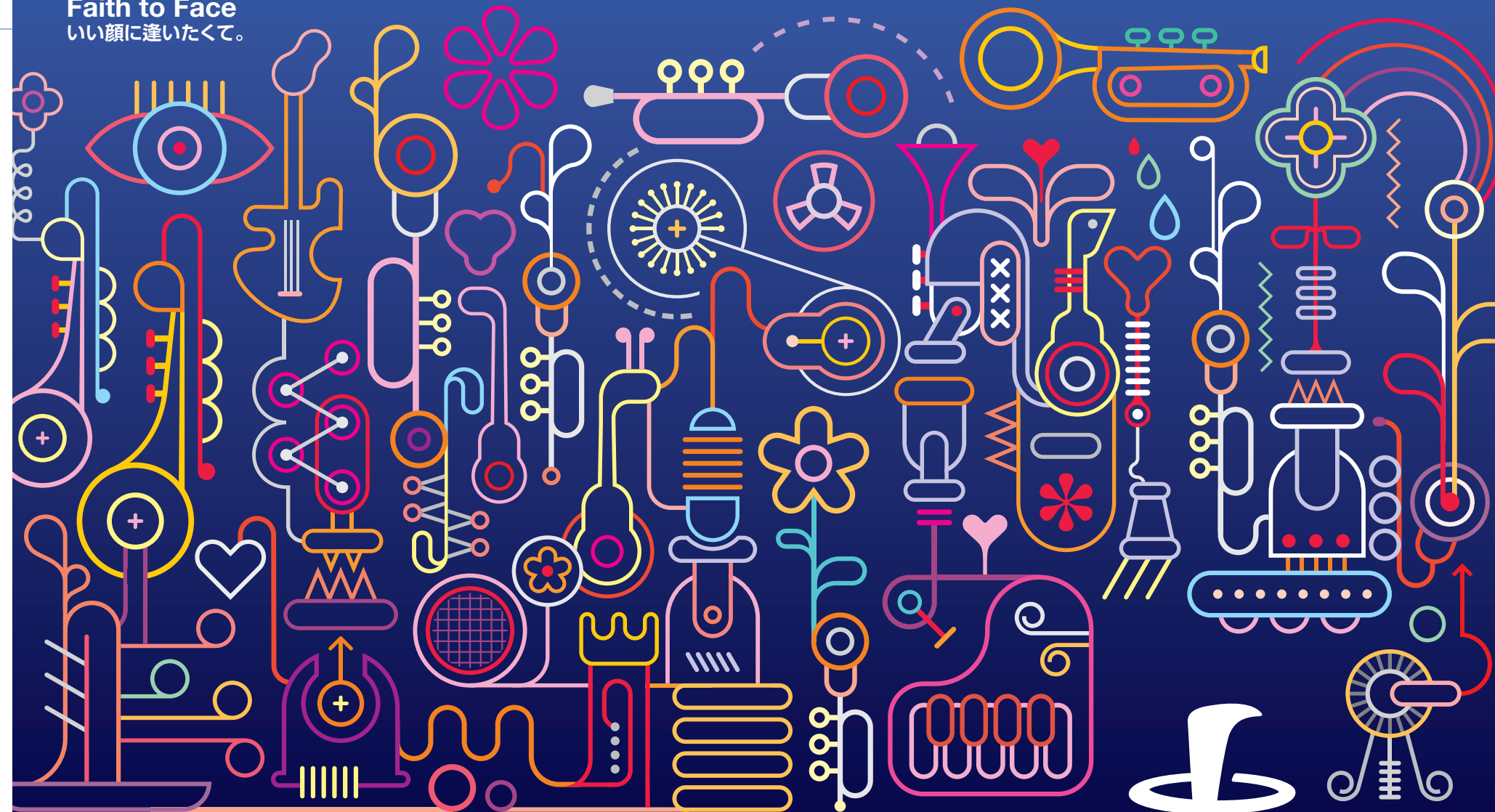


facebookフェイス公式ページのご案内

フェイス・グループのニュースリリース、最新コンテンツ情報などを随時更新しています。

<http://www.facebook.com/faitn.jp/>

Faith to Face
いい顔に逢いたくて。



Semi Annual Report

2016.4.1 - 2016.9.30 | 株式会社フェイス | 第25期上半期 営業のご報告



トップメッセージ

「あるものを追うな。ないものを創れ。」の精神のもと、
大きな変革期にある「今」を楽しみながら、
次世代にふさわしいサービスの創造と普及に邁進

■ 新たな価値を生み出す
新サービスを粘り強く展開

音楽は、従来の業界の枠組みを超え、様々な要素が融合することにより新たな価値を生み出し始めた今、新たな産業構造が構築されるタイミングに突入しつつあります。このように環境が移り変わる中、フェイスは来年の創業25周年を前にした今でも、「音楽流通を変える」という創業当時の志がぶれることはありません。アーティストからユーザーへダイレクトにコンテンツを届ける時代が必ず来るといふ戦略のもと、音楽ファンやユーザーのニーズを汲み取り、時代に合った形でどのように音楽を届けていくかをフェイス・グループ全体で探究し続けています。現在は、アーティストとファンがダイレクトに繋がる環境を提供し、アーティスト活動をフルサポートする「Fans'」や、BGMサービスを核とし、店舗と顧客を音楽で繋ぐO2O機能を有する店舗向け総合ソリューション「FaRao

PRO」を中心とした、新しい形の音楽コンテンツビジネスを見据えて立ち上げてきたサービスを、粘り強く確立していく時期にあると捉えています。

そうした新時代のサービスは日本国内のみにとどまらず、グローバルな展開も積極的に進めています。ヨーロッパへ音楽サービスを提供する足がかりとして、フランスのIT推進都市「French Tech」に選定されたアンジェ市に現地法人を設立し、行政と協業しながら、音楽配信事業を開始しました。ソリューション、プラットフォームを各国のマーケットに受け入れられるよう適応させながら、その浸透を図っています。

■ ホテル×飲食×エンターテインメント
の化学反応と海外展開の進捗に期待

新たな挑戦として、異業種間での協業・融合を進める取り組みも始めています。6月23日に改正風営法が施行され、ダンスホール（以下クラブ）などの深夜営業



代表取締役社長

平澤 創

が特定された地域で可能となりました。日本ではアンダーグラウンドなイメージが色濃く残っているクラブカルチャーですが、世界的に見ると、例えば、ベルギーでは、新国王即位の記念式典でDJがパフォーマンスし、オーストリアのウィーンでは、クラブが国の文化的空間として公式に認められるなど、日本よりも身近に楽しまれている芸術であることがわかります。

こうした世界的に定着しているナイトライフを楽しむ文化の流れが、法律改正を機に日本にも芽吹き、大きな流れを生むという認識のもと、ホテル業界・飲食業界・エンターテインメント業界からなる、一般社団法人フード&エンターテインメント協会（FFE）を設立し、エンターテインメント担当理事に就任しました。

エンターテインメントコンテンツと食をホテルなど様々な商業施設や異業種とマッチングさせることで、市場の活性化、産業の育成に寄与することを目的としています。特に2020年に向け、訪日外国人に日本文化を発信していく場を創出することを喫緊の目標としています。こうした「ライブの場」の興隆は、フェイス・グループにとっても非常に関係の深い領域であり、中期的には、当社の事業展開にも直結させていく考えです。総合エンターテインメントの提供を目指し、フェイス・グループ内の様々な機能を活用しながらお客様が集い楽しめる場を創り、「世界に根付かせる事業にも着手していきます。

■ 新発想をしっかりと実現化する組織として、さらなる進化を目指す

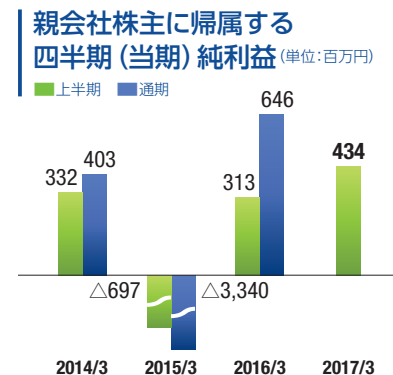
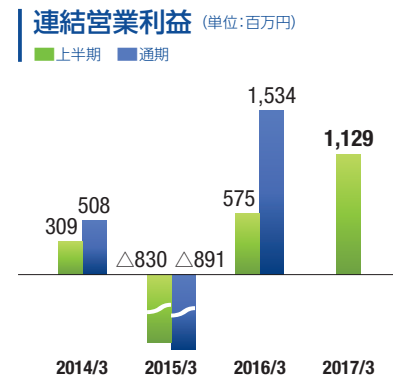
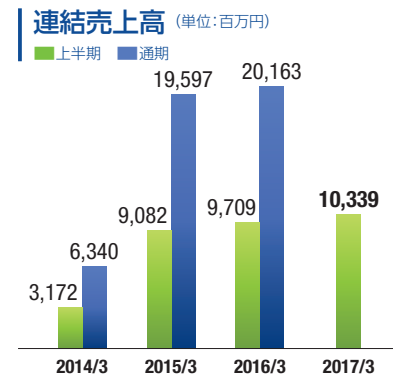
今、世の中に求められていることを実現するには、既定路線にとらわれず、想定を凌ぐ発想力を有することはもちろん、その発想を形にする実行力が必要です。また、同時に経験や知識によって若いアイデアを摘んでしまわないことも重要です。そうした体制を構築し、事業運営に臨むためにも、人材のボトムアップが不可欠であると考え、2016年7月より、執

■ 新たな配信プラットフォームの道筋を明確にすることで
さらなる事業発展を迎えることができる

行役員を5名増員し、8名体制としました。フェイス・グループ全体をいかに連携し、盛り上げていくかをミッションとしながら、責任を明確にし、現場レベルの判断を磨き、機動力向上を意識させることで、次世代マネジメント層の育成にも繋げていきます。

CD販売、楽曲ダウンロードというこれまでのビジネスモデルに則った市場は、世界的にもダウントレンドで、音楽業界は衰退の一途を辿っているかのような印象を受けますが、音楽を求める普遍的なニーズは、将来にわたり、無くなることは絶対にありません。新たな配信プラットフォームの道筋をつけている今は、次なる事業発展へ一段上がる前の踊り場の

な状況にあると認識しています。ここを必ずや突破し、新しい時代にふさわしい音楽サービスを探求する姿勢を貫きながら、その波及に努めていきます。そのためにも、「あるものを追うな。ないものを創れ。」の精神のもと、大きな変革期にある今だからこそ、事業の選択と経営資源の集中を意識しながら、今後も狙うべき領域へは果敢に挑戦すると同時に、粘り強く事業展開を推し進めていきます。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



特別企画 「新体制執行役員が語る」

音楽をコアにした強みを活かすため総合力を発揮し、
事業同士を反応させ、より大きなステップをともに踏み出す

2016年7月1日より、執行役員を8名に増員し、新体制での船出を切ったフェイス。

今回は各コンテンツサービスを担当する3名の執行役員が集まり、フェイス・グループで果たす役割について語った。



フェイスは一体、
どんな会社なのか？

木下：私の印象は「自分のやりたいことがチャレンジできる会社」です。今回、フェイスの関係会社から本体に戻り執行役員に就任したのですが、改めて事業運営のスピード感を体感しています。またフェイスは一言で言うと、音楽を基盤においたエンターテインメントにおける様々な機能が集約された企業グループ、でしょうか。

箕川：私は2013年にエンターメディアがフェイス・グループに加わる際にフェイスに入社しました。当時は着信メロディの印象がまだ強く、日本コロムビアを傘下に加え、どんな新しい音楽サービスを立ち上げようとしているのか、と漠然と思っていたのですが、闊達に新しいことに挑戦している会社でした。

小澤：社員がトップと直接意見を交わし、新たな事業にチャレンジできる文化がありますね。私はフェイスが着信メロディを創

出した頃から在籍していますが、「音楽」というキーワードを軸に、常にチャレンジを繰り返し、更なる進化を遂げていると思います。

箕川：今は、音楽をコアにグループ間で連携を取りながら総合力を発揮していく、しっかりとした強みを活かせる体制にしていく段階に入っていかなければならないと思っています。だからこそ、今回のような執行体制が敷かれたのだと理解しています。

小澤：今回、執行役員が8名に増え、これまでそれぞれに事業を推し進めていたところからさらに進んで、各自が担当する事業同士をどう連携していくか、意見交換する機会が格段に増えましたね。

木下：それぞれの事業の深い部分まで、お互い理解しながら対話ができるのはこの体制になったからこそ。最大限に活かしたいですね。

フェイスがフェイスらしく
あり続ける、その理由

箕川：一種のプレッシャーも含め、「あるものを追うな。ないものを創れ。」という企業理念に皆が向かい、今後は新たにグループ会社入りしたメンバーにもより一層浸透させていくことが重要で、またフェイスが持つ「成功した経験や体験」は大きな強みです。ビジネスを構築していくのに、事業プランの策定などをただ当たり前にやるだけでなく、成功体験からくる指摘も含め、

精度を上げる補完・補強の気付きがある。日々、鍛えられている感じです。

木下：社員がチャレンジする気持ちになる環境、そうした意識がないとやっていけない環境であることもフェイスらしさ、かと。それが常に刺激的な環境であることもフェイスの特徴であり強みだと思います。

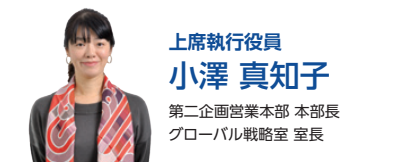
成功体験のDNAを次世代でも
萌芽させるために必要なこと

箕川：これから先、若い世代のアイデアを尊重し、実現させていくには、我々の世代で新しい成功体験を作ること、そしてそれを見せながら、アクティブさを引き出し、さらに新しいことにトライさせていくこと。成功体験の遺伝子を次世代でもしっかり萌芽させていくことが大事になると考えています。そして、エンターテインメントな仕事に携わるのだから、本人も楽しく仕事をできるようにしていくことが大前提。

小澤：確かに。各々がステップアップするのはもちろん、チームワークで乗り越える楽しさを実感できる環境を作ることが、働きやすさに繋がる、と思っています。仕事上における目標を高く持つこと、また仕事人としてどんな人になりたいか、どんな仕事の仕方をしたいのかを意識した対話を心がけています。

木下：私は本人が持っているスキル、能力、志向を引き出せるような距離感で接することを重視しています。今回、非常に多くの

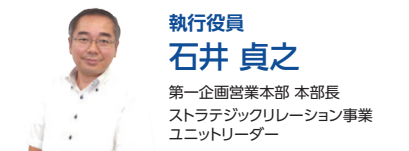
新執行役員体制



上席執行役員
小澤 真知子
第二企画営業本部 本部長
グローバル戦略室 室長



執行役員
木田 優子
経理部 部長



執行役員
石井 貞之
第一企画営業本部 本部長
ストラテジックリレーション事業
ユニットリーダー



執行役員
稲生 裕二
メディア企画室 室長



執行役員
竹田 秀一
企画営業統括室 室長



執行役員
吉村 昌哲
プラットフォーム&
マーケティング本部 本部長
教育ICT事業ユニットリーダー



執行役員
木下 由佳
クリエイション事業ユニットリーダー



執行役員
箕川 智久
Fans'事業ユニットリーダー

部下を抱えることになり、若い人たちには追い越して欲しいけれど、追い越されないよう自分も走り続けること、まずは、背中を見てもらえるような仕事をするを意識しています。

これからのフェイスを形作る上で
今だからこそ、果たすべき役割

箕川：私はアーティストを軸に、よりダイ

レクトにファンとの新しい関係を作るためのプラットフォーム「Fans」を担当していますが、グループが有する事業・サービスをwin-winの関係で連携させることが大事だと思います。各々の質を高めながら、化学変化による新しいビジネススキームを構築し、根付かせ、成功させること、それがミッションです。
木下：私が担当するのはアーティストのマネジメントや楽曲制作などの部分です



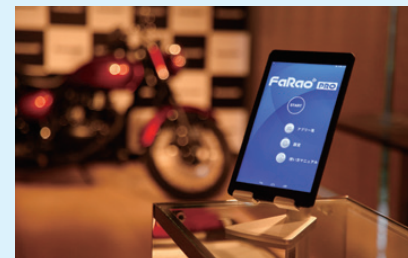
が、グループにある機能をフル活用しながら、アーティスト側のもの作りのスキーム、新しい作り方の道筋を見出していくことも進めていきたいです。

小澤：私はこれまでアライアンス先との連携による着信メロディをはじめとするBtoBtoCビジネスに長年にわたって関わり、この7月から[FaRao PRO]を管轄することになりました。またグローバルの分野も担当しており、そういう意味では、フェイスのビジネスの大部分を見られる環境なので、全体感を見ながらグループ内相互間の横連携も考えています。今あるリソースを繋ぎ、新しい機能やサービスを生む連携はもちろんですけど、事業と事業を反応させて、さらに大きなステップを一緒に踏み出すようなこと、それを今の執行役員の

メンバーで役割分担しながら立ち上げていくことがフェイス・グループを前進させる原動力になると思っています。

箕川：そうですね、一丸となって盛り上げるという意味でも、とにかく動いて、多くの人が群がって、働く場にも高揚感、ライブ感を持ち込んで仕事をする、そんなことも必要だと思います。そして、より多くの人と関わり、多くの人に利用され、多くの人に感謝される、その積み重ねが、次代のフェイス・グループを形作っていくことになるのではないのでしょうか。

カワサキの新ブランドショップ「カワサキ プラザ」に「FaRao PRO」の店内BGMを提供



当社は、2016年11月より株式会社カワサキモーターズジャパンが提案する新ブランドショップ「カワサキ プラザ」へ「FaRao PRO」によるBGMチャンネルの提供を開始しました。

観る・聴く・香る・味わう・触れるの「五感で楽しむ空間づくり」をコンセプトとした「カワサキ プラザ」が、より上質な“モーターサイクルライフ”スタイルを提案できるよう、「FaRao PRO」を通じて、音楽の力を最大限に活用しながら、店舗の環境づくりとオペレーションの支援を行ってまいります。

アーティスト活動をフルサポートするサービス「Fans'」のミュージックプレイヤーアプリ「Fans' Player」を提供開始

近年、音楽のニーズが変化している中でアーティストとファンをより強固に繋ぐことができるミュージックプレイヤーアプリ「Fans' Player」の提供を開始しました。

ファンの方はCDパッケージに同梱される16ケタのパスコード「Fans'コネクティングID」をアプリ上に入力するだけで収録楽曲や映像をダウンロードでき、簡単に視聴することが可能です。また、「Fans'」を利用するアーティストが、アプリ上で楽曲や映像をファンクラブ限定として公開し、ダウンロードやストーリーミング配信を行うことができます。



会社概要

(2016年9月30日現在)

株式会社フェイス

事業内容	コンテンツ配信プラットフォームの開発およびビジネスモデルの構築
設立	1992年10月9日
資本金	32億1,800万円
上場取引所	東証1部(証券コード4295)
従業員数	116名(連結369名)

取締役および監査役

代表取締役社長	平澤 創
取締役	矢崎 一臣
取締役	佐伯 次郎
取締役	佐伯 浩二
社外取締役	樋口 泰行
常勤監査役	土屋 文男
社外監査役	清水 章
社外監査役	菅谷 貴子

アドバイザー・ボードを構成する社外有識者

島田 精一	元日本ユニシス株式会社 代表取締役社長 学校法人津田塾大学 理事長 スルガ銀行株式会社 社外監査役 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団 評議員/学校法人津田塾大学 理事長 国立大学法人千葉大学経営協議会 委員・学長選考委員 学校法人根津育英会 評議員/武蔵学園後援会 副会長 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 評議員 公益財団法人日伊協会 副会長/日本ヴェルディ協会 理事/東京二期会 理事
野中 隆史	みずほ信託銀行株式会社 常任顧問
堀 裕	堀総合法律事務所 代表弁護士/日本ローエイシア友好協会 常務理事 内閣府・公益認定等委員会 委員/みずほグループ各社 監査役 在日ロイヤル・タッチ・シェルグループ各社 監査役 国立大学法人千葉大学 理事・副学長、経営協議会 委員 サハシLNGサービス株式会社 監査役 公益財団法人国連大学協力会 監事 公益財団法人渋沢栄一記念財団 理事
村瀬 清司	元社会保険庁 長官/企業年金連合会 理事長 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 非常勤顧問

フェイス・グループ

コンテンツをユーザーに届けるためのあらゆる機能を有し、ワンストップサービスとしてプラットフォーム化できる企業グループです。



※本文書に記載されている商品・サービス名は株式会社フェイスの日本またはその他の国における商標または登録商標です。